

藤枝市文学館 第41回企画展

# お正月を

# 寿

ことほ



平成28年1月5日(火)~2月7日(日)



# ぐ デ ザ ス ン

(上)「美意延年」(櫻井琴風) (下)小倉百人一首9番歌 小野小町(青木幽溪)

## 藤枝市郷土博物館・文学館

〒426-0014 静岡県藤枝市若王子500番地(蓮華寺池公園内)

TEL 054-645-1100 FAX 054-644-8514

Eメール muse@city.fujieda.shizuoka.jp

藤枝市郷土博物館・文学館 [検索](#)

休館日: 月曜日(祝日は開館、翌日休館)

開館時間: 午前9時~午後5時

入館料: 大人(一般)200円、(団体20名以上)160円

中学生以下及び障害者手帳等をご提示の方と

介助者の方は無料(郷土博物館・文学館共通)



# お正月を寿ぐデザイン



「美意延年」(櫻井琴風)



年賀状 昭和45年 (小川国夫)



年賀状 昭和46年 (小川国夫)



小倉百人一首 1番歌 天智天皇 (青木幽溪)



小倉百人一首 53番歌 右大将道綱母 (青木幽溪)

正月には、新たな年を歳神様としがみさまとして迎えるための、門松やしめ飾りなど日本独特の行事や風習が各所で見られます。初日の出を拝み、また神社仏閣へ初詣するなど、日本古来の信仰が人々の生活に溶け込んでいる様子がうかがえます。また、正月の遊びとして、江戸時代ごろには庶民に定着した羽根つき、かるた(百人一首)、福笑いなどは現代ではあまり行われなくなっていますが、多くの方が経験していることでしょう。

併せて、正月は多くの方に「ことほぐ」(言葉で祝福し幸運を祈る、の意)季節でもあります。その風習が、年始の挨拶まわりや年賀状のやりとりです。

本展では、青木幽溪(書家)が描いた美しい小倉百人一首や櫻井琴風(書家)の迫力ある前衛書などから、新年にちなんだ作品や縁起のよい作品を一同に展示します。併せて、小川国夫(作家)が描いた年賀状なども紹介します。

新たな年を祝い、また幸あらんことを祈るこの季節、藤枝ゆかりの芸術家・文学者たちが表現した「正月」を是非ご覧ください。

## 同時開催 郷土博物館企画展 おさるさんの郷土玩具

申年にちなみ、日本人にとって親しみ深い動物「猿」に関する全国各地の郷土玩具を一堂に集めて展示します。

お猿さんの愛嬌のある仕草・表情や、活発で茶目っ気のある行動をユーモアたっぷりに玩具に仕立てています。

ユニークな猿の造形・表情をお楽しみください。会期・入館料は、文学館企画展「お正月を寿ぐデザイン」と共通です。



浜松張子・柿乗り猿

## 次回開催予告 五味太郎作品展「絵本の時間Special」

日本を代表する絵本作家の一人、五味太郎さんの絵本原画や、国内外で出版された絵本などを展示します。大人も子どもも楽しめる、五味さんの作品世界をぜひご堪能ください。

会期：平成28年2月11日(木・祝)～3月27日(日) 9時～17時

(休館日：月曜日(3月21日(祝)を除く)、2月12日(金)、3月22日(火))

入館料：大人400円、中学生以下無料、障害者手帳をお持ちの方及び介助者の方無料  
「しずおか子育て優待カード」をお持ちでお子様連れの方200円



「グレート・ワンダーシップへようこそ」(c) GOMI TARO, 2007



「きんぎょがにげた」(c) GOMI TARO, 1977